

各位

会社名 日本サード・パーティ株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 森 豊  
 ( JASDAQ・コード 2488 )  
 問合せ先 取締役コーポレート本部長 伊達 仁  
 ( 電話 03-6408-2488 )

## 2020年3月期第2四半期連結及び個別業績予想と実績値との差異並びに 通期連結及び個別業績予想の修正に関するお知らせ

2019年5月9日に公表いたしました、2020年3月期第2四半期連結及び個別業績予想数値と、本日公表の実績数値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。  
 また、第2四半期の実績と、最近の業績動向等を踏まえ、2020年3月期通期連結及び個別業績予想を修正いたしましたので、あわせてお知らせいたします。

### 記

#### 1. 2020年3月期第2四半期連結業績予想数値と実績値の差異 (2019年4月1日～2019年9月30日) (単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益(円)
前回発表予想 (A)	2,800	44	44	27	5.30
実績値 (B)	3,078	228	229	150	29.65
差額 (B-A)	278	184	185	123	—
差額率 (%)	10.0	418.4	421.4	458.5	—
(参考)前期第2四半期実績 2019年3月期第2四半期	2,534	70	73	44	8.81

#### 2. 2020年3月期通期の連結業績予想数値の修正 (2019年4月1日～2020年3月31日) (単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益(円)
前回発表予想 (A)	5,700	255	255	160	31.46
今回修正予想 (B)	6,230	365	365	219	43.06
差額 (B-A)	530	110	110	59	—
差額率 (%)	9.3	43.1	43.1	36.9	—
(参考)前期実績 2019年3月期	5,472	238	247	154	30.38

3. 2020年3月期第2四半期個別業績予想数値と実績値の差異（2019年4月1日～2019年9月30日）  
（単位：百万円）

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益(円)
前回発表予想 (A)	2,800	44	27	5.30
実績値 (B)	3,078	230	152	29.90
差額 (B-A)	278	186	125	—
差額率 (%)	10.0	424.3	463.2	—
(参考)前期第2四半期実績 2019年3月期第2四半期	—	—	—	—

4. 2020年3月期通期の個別業績予想数値の修正（2019年4月1日～2020年3月31日）  
（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益(円)
前回発表予想 (A)	5,700	255	160	31.46
今回修正予想 (B)	6,230	365	219	43.06
差額 (B-A)	530	110	59	—
差額率 (%)	9.3	43.1	36.9	—
(参考)前期実績 2019年3月期	5,472	247	154	30.38

5. 業績予想との差異及び修正の理由

（売上高）

当第1、第2四半期のITサービス市場においては、人手不足に対応するための自動化・省力化等、いわゆる働き方改革に伴う案件が増加傾向にあり、更に本年10月1日からの消費税増税に伴う駆け込み需要もあり、総じて企業のIT関連投資が活況でありました。そのような状況下で、当社においても例年、全セグメントにおいて、第3、第4四半期に案件が集中する傾向がありましたが、当第1、第2四半期に案件が集中した為、業績予想を大幅に上回りました。当第3、第4四半期については、米中貿易摩擦等による景気の不透明性が続いていることから、前述のIT関連投資の減速リスクが見込まれるものの、当第1、第2四半期と同等の売上高を見込んでおります。

（営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益）

前述の売上高の差異及び修正の理由に記載の通り、利益面についても当第1、第2四半期は、業績予想を大幅に上回りました。当第3、第4四半期については、今後の事業展開のための社員研修を予定していることと、教育ソリューション・デジタルイノベーションセグメントにおいて、自社サービスの開発及びプロモーション等の投資を見込んでおります。以上の点から、当第3、第4四半期は、当第1、第2四半期と比較して、利益面では下がることは見込まれますが、当初通期業績予想は、上回る見込みです。

※業績予想等の将来に関する記述につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

以上